

平成 30 (2018) 年度

事業報告書

自 平成 30 年 4 月 1 日

至 平成 31 年 3 月 31 日

公益財団法人九州盲導犬協会

福岡県糸島市東 7 0 2 番地 1

1. 盲導犬育成事業について

(1) 視覚障害者に対する盲導犬貸与と生活訓練等の実施について

- ①平成 30 年度の盲導犬無償貸与頭数は 8 頭
代替 2 頭（福岡県 1、高知県 1）、新規 6 頭（福岡県 3、山口県 1、宮崎県 2）
- ②盲導犬累計貸与数は 248 頭（タンデムを含む貸与者数 256 名）
- ③平成 31 年 3 月末現在の実働盲導犬 48 頭（盲導犬使用者 49 名）

(2) 盲導犬使用者に対するフォローアップについて

- ①貸与後 1 年以内のフォローアップを充実させるとともに、盲導犬使用者が安全な歩行及び生活が継続できるようフォローアップの充実を図った。
- ②期中フォローアップ件数は 52 件

(3) 犬の飼育および訓練について

- ①繁殖について
 - ・期中子犬 30 頭（出産子犬 30 頭-他協会譲渡子犬 1 頭+他協会譲受子犬 1 頭）を確保した。
 - ・平成 31 年 3 月末の繁殖犬数は 15 頭（雄 5 頭、雌 10 頭）である。
 - ・繁殖犬飼育委託家庭 7 件に対し、定期訪問 49 回実施した。
 - ・AGBN加盟協会との繁殖協力の維持・発展に努めた。
- ②パピーウォーキングについて
 - ・期中延べ 30 頭の子犬を飼育委託、期末PW委託犬数は 51 頭。
 - ・期中飼育講習会 21 回、飼育家庭訪問回数 78 回を行い、飼育指導に力を注いだ。
- ③候補犬の訓練について
 - ・犬の稟性・健康評価と並行して期中 52 頭の候補犬の訓練を実施した。
- ④盲導犬の健康管理について
 - ・フォローアップ時に盲導犬の健康状態を聴取して健康維持のための指導・助言を行った。
 - ・福岡県をはじめ各県獣医師会及び動物病院各位のご支援・ご協力をいただき、盲導犬医療特別措置（混合ワクチン接種など）を継続実施することが出来た。
- ⑤繁殖犬・リタイア犬等のケアについて
 - ・飼育ボランティアおよび獣医師の方々と連携して、繁殖犬及びリタイア犬の健康管理に対応した。
 - ・期中の盲導犬の引退頭数は 6 頭、期末の飼育委託頭数は 38 頭である。
- ⑥犬舎管理について
 - ・犬舎担当職員・訓練士が連携して最大管理頭数 32 頭の犬舎の衛生管理及び犬の健康管理に努めた。

(4) 盲導犬歩行指導員等の育成について

- ①全国盲導犬施設連合会の盲導犬歩行指導員等資格認定試験に盲導犬歩行指導員1名・盲導犬訓練士1名が合格した。
- ②平成30年9月オーストラリアで開催の国際盲導犬連盟セミナーに1名、平成31年2月神奈川県で開催の全国盲導犬施設連合会主催の盲導犬育成ジャパンセミナーに4名派遣する等、各種研修会に職員を派遣して技術及び知識の向上を図った。

2. 普及啓発事業について

(1) 総合訓練センターにおける啓発活動について

- ①総合訓練センターにおいて、一般見学会を毎月1回(12月除く)開催し、年間延べ373名の見学者が来所した。一般見学会とは別に24団体681名に対する団体見学会を実施、その他のセンター来所者と合わせ約3,000名の方々に、盲導犬並びに身体障害者補助犬法について啓発活動を行うことが出来た。
- ②平成30年12月「協会設立35周年感謝のつどい」をボランティアの方々の協力を得て開催、ユーザーはじめ約300名が来所、お互いの親交を深めることが出来た。
- ③盲導犬宿泊体験(1~2日)希望者を募り、期中5回実施し普及啓発に努めた。

(2) 盲導犬普及啓発街頭活動について

- ①盲導犬使用者、ボランティア、各地区ライオンズクラブ、西日本高速道路サービスなど多くの方々の協力を得て、RKBラジオまつり・糸島市民まつりなど各地の動物愛護祭やイベントに参加して、補助犬の受入れの理解と普及啓発に努めた。
- ②RKB毎日放送株式会社実施の「いっしょに歩こう!RKBラジオ盲導犬募金」キャンペーンでは、毎月福岡県内の各地の郵便局に盲導犬PR犬2頭を帯同して盲導犬の普及啓発に努めた。
- ③福岡県内715の郵便局に募金箱を設置していただいて、RKBラジオ盲導犬募金に多くの皆様から盲導犬育成募金(計3,214,618円)の協力をいただいた。

(3) 実演・講演・体験歩行会の実施について

小中学校の視覚障害者福祉学習に講師を派遣して講演・実演14回、視覚障害者の体験歩行会7回を実施、盲導犬を主体とした補助犬の普及啓発に努めた。

(4) ホームページ及び協会報による広報活動について

- ①ホームページを使って、タイムリーな情報の発信に努めた。
- ②協会報「ハーネス九州」を福岡県共同募金会からの配分金80万円をもとに、年2回(2月、8月)計18,000部発行し、盲導犬使用者及び盲導犬受入れへの理解や身体障害者補助犬法等に関する情報提供に努めた。

3. 関係団体協力事業について

- (1) 九州盲導犬友の会の総会（6月）、友の会日帰りレクレーション旅行（2月）等に参加してその活動を支援した。
- (2) 全国盲導犬施設連合会、日本盲人社会福祉施設協議会、県市社会福祉協議会等の関係団体が実施した福祉事業に協力、福祉の向上に努めた。

4. その他

(1) 苦情・相談について

盲導犬使用者・ボランティア・一般市民の方からの期中24件の苦情・相談（内訳盲導犬使用上の相談8件、盲導犬受入れ拒否7件、盲導犬貸与相談他9件）に対し行政・関係団体と連携して迅速に対応した。

(2) 財政基盤の安定について

① 賛助会員について

今期末の会員数は792件（前期比55件増）である。

② 募金箱・盲導犬自販機について

今期末の募金箱設置先は1,892件（前期比43件増）である。

今期末の盲導犬自販機設置先は85カ所（前期比±0）である。

(3) 理事会・評議員会の開催について

理事会開催年月日	主な決議事項等
平成30年6月4日	・平成29年度事業報告及び財務諸表等について ・定時評議員会の開催の件 ・盲導犬貸与審査会委員の選任について ・役員候補者推薦委員会委員の選任について
平成30年6月26日	・代表理事及び業務執行理事の選定について ・業務執行理事の執行状況報告について
平成30年12月4日	・上半期事業及び業務執行理事執行状況の報告について
平成31年3月18日	・平成31年度事業計画及び収支予算について ・給水設備の更改について・職員の採用について ・業務執行理事の執行状況報告について
評議員会開催年月日	主な決議事項等
平成30年6月26日	・平成29年度事業報告及び財務諸表承認について ・理事及び監事任期満了に伴う選任について

(4) 職員に関する事項について

職員在籍状況

平成 31 年 3 月 31 日現在

部 署	職 種	正 職 員	アルバイト・パート
管理部門	管 理 ・ 事 務	※2 名	3 名
事業部門 (盲導犬育成) (普及啓発)	盲導犬歩行指導員	2 名	
	盲導犬訓練士	3 名	
	研 修 生	3 名	
	ケネルスタッフ他		3 名
計		10 名 (前期比±0)	6 名 (前期比+1)

※2 名 (常勤理事 1 名を含む)

(5) 施設について

①施設 (総合訓練センター) の場所 ; 福岡県糸島市東 702 番地 1

②敷地面積 ; 4,133.39 m²

③建物

・管理棟 (主な建物)

(構造等) 鉄筋コンクリート造 3階建て 1,479.11 m²

(主な設備) 事務室、食堂、厨房、男女浴室、共同訓練生宿泊室 (6室)

多目的ホール、犬用医務室、相談室、会議室、

・犬舎棟

(構造等) 鉄筋コンクリート造 平屋建て 574.25 m²

(主な設備) 繁殖犬舎、第1犬舎、第2犬舎、犬具・フード倉庫、シャワー室

④太陽光発電設備 ; 太陽電池出力 48 k w

事業報告の附属明細書

特に記載すべき事項はありません。